お　知　ら　せ
平成 28 年 5 月 25 日
札 幌 管 区 気 象 台

関係機関各位

全国最大規模の機関と合同で水害タイムラインを策定します

～「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第５回）」開催のお知らせ～

札幌管区気象台は、全国でも最大規模の数となる関係機関と合同で「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第５回)」を下記のとおり開催します。
今回は、これまでに検討してきた行動項目等について、担当機関の設定や関係機関の連携について検討します。

「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」は、全国でも最大規模となる、国、道、市、地域の３６の関係機関が連携し、石狩川滝川地区の大規模水災害に備えるタイムラインを策定する検討会です。
平成２７年１１月に第１回目を開催し、毎回各機関がそれぞれの立場で「いつ、誰が、なにをすべきか」について議論を重ねてきました。
５回目となる今回は、タイムライン一次案での役割の確認や関係機関の連携について検討します。

１　日　　時　　平成２８年６月１日（水）
　　１２時３０分　～　１８時３０分

２　場　　所　　たきかわ文化センター　小ホール
　　滝川市新町３丁目６番４４号

３　議事次第　　別紙のとおり

４　そ の 他　　参考１「ワーキンググループの編成及び前回までの検討会」
　　参考２「検討会設立概要」

※本検討会は、公開で実施します。
※災害など不測の事態が発生した場合は、中止することがあります。
※本検討会は、北海道開発局札幌開発建設部、滝川市、札幌管区気象台の３機関が事務局として運営します。

《本件問い合わせ先》
検討会全般　：　札幌開発建設部　河川管理課　電話 011-611-0340
気象関係　　：　札幌管区気象台　業務課　　電話 011-611-3217

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第５回）（案）

日　　時：平成２８年６月１日（水）12:30～18:30
場　　所：たきかわ文化センター　小ホール
（滝川市新町３丁目６番４４号）
事 務 局：札幌開発建設部 河川管理課
札幌管区気象台 業務課
滝川市総務部総務課防災危機対策室

議　事　次　第

司会：滝川市総務部総務課
防災危機対策室長　千葉　豊

１．　開会挨拶
滝川市　総務部長　中島　純一

２．　参加機関によるワークショップ（意見交換）
座長　ＮＰＯ法人　ＣｅＭＩ　環境・防災研究所　副所長　松尾 一郎
・ワークショップ

３．　全体講評
アドバイザー　ＮＰＯ法人　ＣｅＭＩ　北海道　専務理事　黒木　幹男
アドバイザー　気象予報士　志田　昌之

４．　閉会挨拶
札幌管区気象台　総務部　業務課長　西潟　政宣

参考1 検討会に設けているワーキング･グループ（WG）の編成

目標：住民及び防災対応者の確実な安全確保

住民の安全な避難

【市民安全行動G】
確実な安全確保のために住民や地域が実施すべき防災行動や行政との連携内容を検討する

側方援助

【市民安全支援G】
確実な安全確保行動（逃げ遅れ防止、要配慮者支援、避難所運営等）を行うための防災行動を検討する

情報伝達･後方支援

情報伝達･後方支援

【地域安全対策G】
市民の安全確保行動を支援するための情報提供・避難広報・避難誘導・救助を目的とした防災行動を検討する

減災･早期復旧

【交通運輸対策G】
交通途絶の影響の軽減と交通網における二次被害を防止するための防災行動について検討する

後方支援

【防災基盤対策G】
社会基盤（防災施設・ライフライン等）の浸水被害を軽減する方策と早期復旧のための事前対策を検討する

情報伝達･指示

情報伝達･指示

【防災情報･意思決定G】
行政機関が行うべき情報の発信、収集及び共有と防災行動に関する意思決定や指示を検討する

【地域沿川G】
各自治体で必要と考えられる防災行動を検討する

前回までの検討会の経過

国土交通省

第1回検討会　平成27年11月26日（木）

第1回検討会では、事前に説明したシナリオのような災害が起きた際、「どんな被害が想定されるか」、「何をすべきか」、「どんな課題があるか」の3つのテーマごとに各参加者それぞれの意見を付箋に記入し、それぞれの立場で取るべき防災行動について情報共有しました。

ワークショップ状況
参加者それぞれの意見を付箋に記入し、項目ごとに貼り出して情報共有

第2回検討会　平成28年1月21日（木）

第2回検討会では、参加機関・オブザーバーを「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分け、グループごとに議論を行いました。

グループごとに、想定した水害シナリオに対する「到達目標」を整理するとともに、「到達目標」を達成するための「行動項目」、「行動細目」の抽出・順序などを検討し、成果を発表しました。

グループ討議の様子

グループ討議の成果発表

前回までの検討会の経過

第3回検討会　平成28年2月18日（木）

第3回検討会では、参加機関・オブザーバーを「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分け、グループごとに議論を行いました。

各グループでは、第2回検討会で抽出した「行動項目・細目」の内容を確認し、不足している行動細目の追加と、各行動細目の実施時期および所要時間の設定を行い、最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表しました。

松尾座長の挨拶

地域安全対策Gの議論の様子

市民安全支援Gの議論の様子

防災情報・意思決定Gの発表

第4回検討会　平成28年4月27日（水）

第4回検討会では、前回までに設定した行動項目・細目の所要時間や行動開始時期の確認に加え、各行動項目・細目の担当機関の役割設定や他機関との連携について議論を行い、最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表し、情報の共有を図りました。

また、4月の人事異動により新たな参加者が多かったことから、事務局からこれまでの取組について説明を行いました。

札幌管区気象台　西潟課長の挨拶

各ワークショップの様子

グループリーダーによる成果発表

参考２

「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」　設立概要

1.　設立趣旨

滝川市は、石狩川と空知川に隣接して市街地が広がり、国道 12 号、JR 函館本線や高速道路が交差する交通の要となり発展してきました。

一方、堤防や河道掘削などの河川整備が進んできたものの、近年の豪雨災害を踏まえると更なる対策が必要であり、河川改修等のハード整備に加え、河川特性や滝川市街地区の水害特性を踏まえたタイムラインを策定することが防災上、非常に有効です。

これらを踏まえて、滝川地区における関係機関が連携し、住民の生命を守るために、先を見越した早期の災害対応を実現する「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会」を設置することとしました。

2.　参加機関（３６機関）

陸上自衛隊、空知総合振興局、滝川警察署、滝川消防署、滝川市消防団、空知土地改良区、中空知広域水道企業団、滝川市社会福祉協議会、北海道旅客鉄道、北海道電力、日本赤十字社、NEXCO 東日本、滝川ガス、滝川市医師会、滝川建設協会、北海道中央バス、NTT 東日本、滝川市内自主防災組織（幸町第４区地区防災会・泉町連合町内会）、東滝川連合町内会、東町連合町内会、西町連合町内会、西町中央連合町内会、有明町連合町内会、扇町町内会連合協議会、大町地区町内会連合会、新町町内会連合会、本町町内会連合会、緑町連合町内会、南地区町内会連合会、江部乙防犯協会、滝川市民生委員児童委員連合協議会、エフエムなかそらち、札幌開発建設部、札幌管区気象台、滝川市(関係部署含む)

【座長】NPO 法人環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所　松尾副所長

【アドバイザー】日本放送協会　山﨑解説主幹
NPO 法人環境防災研究機構 北海道　黒木専務理事
気象予報士　志田昌之（元旭川地方気象台長）

【オブザーバー】北海道総務部危機対策局、北海道建設部建設政策局、中空知管内４市５町（赤平市、芦別市、歌志内市、砂川市、新十津川町、上砂川町、奈井江町、浦臼町、雨竜町）、國學院大學北海道短期大学部

3.　効果

・水防体制の見直し・改善
・関係機関の「顔が見える関係」の構築、連携の円滑化
・早め早めの防災行動の確立
・防災行動の「漏れ・抜け・落ち」の解消
・住民の早期避難
・市役所・連携機関・自主防災等が一丸となった災害対応の実施

4.　その他

検討会は公開にて開催し、検討結果は HP 等にて情報発信を行うこととします。